

研究所と瑞浪市と高レベル放射性廃棄物処分場ってどうなの？

瑞浪市には高レベル放射性廃棄物処分のための地下研究施設・超深地層研究所（「研究所」）があります。「研究所について」は高レベル処分場にしない約束です。

でも、岩手県釜石市は処分場につながると考えて研究所を断りました。

他県の人たちは研究所があると処分場になるんじゃないのと言います。

研究所の経過と国の方針と現状、県外の人が研究所をどう見るのかお伝えします。

研究所や高レベル処分場のことを考えるきっかけにさせていただけたら幸いです。



1. 研究所のきっかけは、なに？

1962年、土岐市でウラン鉱床が発見されました。東濃でウランを探すために、日本原子力研究開発機構（当時の動燃、「機構」）が土岐市に入ってきました。

2. 高レベル処分の研究を始めたのはなぜ？

1980年代、ウランの輸入が認められて、ウラン探査を止めました。1986年から高レベル放射性廃棄物地層処分の研究が始まりました。以来、東濃は処分研究で最も多くの地下データが集められ、今後も続きます。

機構は「誤解を招く恐れ」から、住民には知らせませんでした。この頃から、東濃に地下研究施設をつくる計画までありました。勿論住民にも、自治体にも内緒でした。

3. 県や土岐、瑞浪市は知っていたの？

土岐市長にだけ知らせて、県や瑞浪市には1989年に知らせました。

4. 研究所と処分場は同じ地域の方が良いんじゃないの？

機構もセットと考えていました。でも、そのことがバレたり、高レベルを持ち込む計画が嫌われて、釜石市や北海道は研究所を断りました。2000年に北海道と幌延町が受け入れ。

5. 1995年になぜ、県や瑞浪市、土岐市は研究所を認めたの？

1992年、原子力委員会が研究所の計画と処分場の計画は明確に区別して進めるといふ方針を出し、岐阜県と瑞浪市が研究所を受

け入れると決めました。

6. 協定を知って、どうしたの？

勉強して、処分場が決まっていないうちに研究所をつくったら、そこが処分場になる、協定を結ばないで、という瑞浪市民の約半数の署名を市議会に出しました。でも、議会は不採択、処分場を受け入れない決議を上げて研究所を認めました。

住民投票の直接請求も提出しました。しかし議会審議も済まない12月28日に瑞浪市と県、土岐市は機構と協定を結びました。

研究所用地の月吉^{つぎよし}の人達は協定後も反対を続け、用地への進入路を造らせませんでした。

協定書には「事業団は、研究所について、放射性廃棄物を持ち込むことや使用することは一切ないし、将来においても放射性廃棄物の処分場とはしない」とあります。研究所の用地以外なら処分場にできます。

7. 確約書があるから処分場にならないと聞いたけど？

1998年9月の科学技術庁長官の回答書ですね。回答書には知事や市長たちが「処分場を受け入れる意思がないことを表明されている状況においては、岐阜県内が高レベル放射性廃棄物の処分になることはない」とあります。知事や首長がOK又は拒否しなければなりません。

1997年、機構が住民や議会に内緒で、処分場の調査と同じ調査を計画しました。住民と議会は、処分場にするための調査だと驚き、調査を中止させました。この調査を進めるため、科学技術庁長官が知事に出した文書です。

しかし政策文書で法的効力はありません。

8. 高レベル処分法(2000年5月末日)ができたとき、瑞浪市長は処分場にならないと説明したけど？

市長は“研究は機構、処分は NUMO”だから瑞浪市は処分場にならないと説明しました。でも、法律には瑞浪市や幌延町など研究所を受け入れた地域を除外するとは書かれていません。

2002年12月に NUMO が処分場の公募を開始しました。応募書は瑞浪市にも土岐市にも届いています。配布を除外された自治体はありません。

9. 東濃が処分候補地だったの？

1980年代は処分予定地選びも機構の仕事でした。全国を調査して63ヶ所を処分候補地に選びました。岐阜県では瑞浪市、中津川市、恵那市から4箇所を選びましたが、公表しませんでした。2004年情報公開訴訟に勝って2005年に公開させました。この報告書は NUMO も処分場選びに使うことができます。

10. 今、高レベル処分場の調査はどこでやっているの？

調査地域はありません。福井県和泉村(現大野市)、高知県津野町、滋賀県余呉町などが検討しましたが、住民の反対で止めました。

2007年1月高知県東洋町では住民や議会が反対なのに、町長が独断で応募しました。出直し選挙で新町長が応募を撤回しました。

調査地域が決まらないので、国から自治体に直接申し入れることも可能にしました。

11. 国が直接自治体に申し入れるの？

NUMO の公募と国からの申し入れの両方になりました。

瑞浪市は研究所の交付金を約5億円/年受けています。市有地の戸狩に研究所を移転させて多額の交付金が付いたためです。他に機構から道路、公園整備費等を得、税金も入

ります。国から申し入れがあったら・・・？

12. 研究所を見学した人の感想は？
経済産業省ホームページの感想より

- ・この施設を使って実際に埋めることはできないのか。
- ・埋戻すの？こんなにお金をかけて
- ・この場所にこのような試験施設をするのであれば地域住民とのコミュニケーションをもち、この場所を埋設地にすればと思います。(この3つは2008年3月の感想)
- ・研究施設のための目的はもっていない。
- ・なぜ、瑞浪を地層処分場にしないのか・・・。(課題があるとはいえ純粋に疑問に思いません)他に手を挙げる地域は現れないのでは？(この2つは2009年3月の感想)

13. 外国の研究所と処分場はどんなの？

フランス：研究所と同じ地層で処分場をつくるという法律に変えました。

スイス：処分場の調査については特別計画で住民投票をしない、と決めました。

スウェーデン：多くの地域が住民投票で調査を拒否しました。結局、原発と使用済み燃料貯蔵施設と地下研究所のある地域、又は原発のある地域から選ばれます。

14. フランス、スイス、スウェーデンのやり方を取り入れるの？

高レベル処分を推進する国の委員会は2009年3月31日、フランス、スイスなどの「地下研究施設の位置づけや役割の変化を把握」するという計画をたてました。目的は書かれていません。目的は何でしょう？

東濃は高レベル処分研究から23年、研究所の発表から14年目になります。
原発のない岐阜県に、『みなし原発』(研究所)があります。処分場は決まっていません。

このチラシについての問い合わせは 放射能のゴミはいらない!市民ネット・岐阜へ アドレスの @に toyogikai100 yahoo.co.jp =2009年4月23日作成 =